

事業所名 放課後等デイサービスおぢや童夢 支援プログラム 作成日 令和7 年 2 月 22 日

法人（事業所）理念		障がいのある人もない人も共に生きる社会を目指します。					
支援方針		・ひとりひとりの特性・特徴に合わせた療育を行います。 ・できたと喜びを感じる・やりたいと思う・楽しいと感じる気持ちを大切にしています。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思表示が難しい児童には、表情や普段と違う様子を確認しながら健康管理を行います。 ・個々の発達段階や生活環境を踏まえて、清潔にすることや身だしなみの大切さ等の基本的な生活スキルの向上を支援します。 ・持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援します。					
	運動・感覚	・集団活動の中でラジオ体操、サーキットトレーニングなどの運動療育により、筋力の維持・強化を図ります。 ・ダンス、ボールプール、バランスボール、トランポリン、縄跳び等それぞれの児童の好きな活動を通じて楽しく身体を動かしてバランス感覚を養う機会を作ります。 ・製作活動を通じて道具を使ったり、手先を動かす機会を増やし、指先の動きをコントロールする力をつけていきます。					
	認知・行動	・文字のスケジュール表を掲示し視覚的に時間の流れを確認できるようにし、活動終わりの時間を音楽で知らせるなどして時間を意識して自ら行動することを支援します。 ・小空間やプレイハウス・キッズテントなど視覚的刺激の少ない環境を作り、必要に応じて個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。 ・具体的なものや絵カードを使った課題やプリント学習の中で、数の操作、形、長さ、方向、大きさ、時間などの概念を学びます。					
	言語 コミュニケーション	・インタビューの会などでの自己紹介や自分の思いをみんなの前で発表する、言語を表出する機会を作ります。 ・異年齢の子との関わり方を学べるよう支援をします。					
	人間関係 社会性	・グループ活動や集団遊びを通じて、順番に行う、ルールを守る、友達と協力する、感情のコントロールができるなど社会生活に適応するために必要なスキルを身につけられるよう支援します。 ・友達との関わり方では、職員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的な関わりが増えるよう支援します。					
家族支援		・モニタリング会議や面談の機会などを通じて利用中の様子等をお伝えし、情報を共有します。 ・帰りの送迎の際や電話でいつでも困りごとなどを相談できる環境を整えています。			移行支援	・学校での引き渡し時では本日の学校での様子や頑張ったことなどを聞き、支援に生かしていきます。	
地域支援・地域連携		・学校や各関係機関から得られた情報を共有するなどして連携を図ります。 ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。			職員の質の向上	・経験や職種に応じた研修への参加や内部での勉強会を実施しています。	
主な行事等		季節の行事、避難訓練、誕生日会、外出行事					